

立花生徒会新聞

Lantana 通信



11月18日から22日まで、2年生を対象にトライやるウィークが行われます。トライやるウィークでは1週間、地域の事業所に行き、職業体験をします。ここでは中学校では学べない社会のマナーや、対人関係を知ることが出来ます。また、普段ならなく利用している公共施設やお店がどのようになっているかや、働く大変さを身を持って体験することが出来ます。

みなさんは将来就きたい仕事がありますか?もう就きたい仕事が決まっている人や、決まっていなくても、あると思います。しかし、これから何がきっかけで就きたい仕事が変わるかわかりません。トライやるウィークはそのきっかけのひとつになると思います。それぞれ仕事に対するイメージがありますが、実際体験してみないと分からないことが多いのではないのでしょうか。なので自分が希望する場所に行けなかったとしても、人生を変える大きなきっかけになるかもしれません。トライやるウィークを体験するうえで、目上の人に

対する言葉遣いやあいさつが大切になってきます。普段話し言葉を使っていると思いますが、お世話になる事業所の方には失礼になると思うので必ず敬語を使うようにしましょう。また、あいさつもとても大切になってきます。あいさつはやる気や人柄、第一印象を決めるので大きな声でしっかりとするようにしましょう。これまでの部活動や学校生活の経験を活かして、良い印象をもってもらえるようにしてください。そうすることで1週間をとてもよい雰囲気の中で過ごすことが出来ます。これから役立つことをたくさん教えていただけると嬉しいです。このようなことは社会に出たときも大切なことなので、きをつけてるようにしましょう。

この1週間は、初めての方ばかりで緊張や不安なこともありますが、事業所の方ばかりとあたたかく迎えてくださって優しく指導してくださります。しんどいことがあったとしても、くじけずしっかりと職業体験をするようにしてください。

赤い羽根共同募金が10月21日から25日まで行われます。立花中学校では毎年、たくさんの方が募金に協力してくれています。

赤い羽根共同募金が全国から寄付されたお金は、みなさんがよく知っている盲導犬を育てる費用や車椅子を買ったりということに使われたり、そのほかにも、それぞれの都道府県のボランティア団体やNPOといった様々な福祉団体に使われています。

募金は一人でも多くの方がお金を寄付して下さることで、たくさんのお金が集まり困っている人

たちを助けることが出来ます。これは離れていても人助けができる素晴らしいものだと思えます。自分が寄付したお金は遠くの人たちの手助けになる、これって

とても素敵なことだと思いませんか?今まで深く考えたことがなかった人も、自分の寄付したお金のことを、募金して下さる人たちに「誰かの役に立ちたい」と思っている人がいる

ランタナの花言葉
・協力・
協力して良い学校を作りましょう

第10号 平成25年
10月7日
尼崎市立花中学校
生徒会執行部 発行

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金は毎年行われていますが、みなさんは自分のお金で募金してありますか?赤い羽根共同募金があるからといって親か

らお金をもらって募金するのはなく、ジュース1本を買ったことやお菓子をかうことを我慢して募金するお金を貯めたり、ただ募金するだけではなく、困っている人たちを助けたという気持ちを持つことで、自分

するからです。ですから人任せにするのではなく、一人一人が率先して練習するようにしましょう。そして合唱コンクールではきれいな歌声や声量ももちろん大切ですがそれ以上にみんなの心が一つになり協力して歌うことが重要だと思えます。歌の上手い人がたくさんいても、それが自分勝手に歌っていてはいつまで経っても良い合唱をつくることは出来ません。ソプラノ、アルト、テノールの3つの歌声が1つになるように丁寧に歌えば、おのずときれいな合唱になりきつと声量も出てくるはずですよ。

合唱コンクールに向け

にとっても、寄付先の人たちにとっても価値のあるお金になると思えます。

学校の集行動は、一人一人は小さな力でも全校生徒の力があわさることで大きな力になります。募金も同じように、2万5000人の方が100円ずつ募金して下さると盲導犬を育てる費用となり、1000人の方が100円ずつ募金して下さると車いすを買うことが出来ます。力になりたい、と思う人は少しのお金でもいいので協力してきましょう。これをきっかけに、赤い羽根共同募金だけにではなくお店や街で行っている募金活動にも積極的に募金してみてください。

私たちが生徒会執行部が朝校門で募金箱を持っているので、赤い羽根共同募金にぜひ協力をお願いします。

て、そろそろ朝練を始めようとしているクラスもあるのではないのでしょうか?朝練をしようとする心持はとても大切ですが、ダラダラしているだけで時間が過ぎてしまふ、ということも毎年よく起きてしまふ「ちりも積もれば山となる」ということわざがあるように、毎朝の30分の練習で勝敗が決まってしまう事もあります。ですから少しでも、時間を有効に使えるようにしましょう。

3年生にとっては最後の合唱コンクールです。2年生、1年生も全員で協力し、どのクラスも悔いが残らないように精一杯頑張りたい。

合唱コンクールに向け

時間を有効活用しましょう

みなさんは時間を有効に使うことは出来ていますか?時間を有効に使うという事は早寝・早起きや、5分前行動をすること、素早く移動することなどの学校生活に活かせる行動があります。そして、これらの行動は大きな行事で役立ってきます。もうすぐ文化発表会が始まります。文化発表会は1年の中でも大きな行事です。

時間といえば、立花中学校はチャイム着席週間を行い、普段から時間を大切に出来るようにしています。チャイム着席週間は予鈴や授業開始のチャイムが鳴るまでにクラス全員が着席することを徹底する週間です。正副委員を中心としてクラスで声かけをします。その声かけをきちんと聞いてクラス全員で協力して時間を有効に行動することが大切になります。みなさんはチャイム着席週間を経験しているので、文化発表会に繋げていくことが出来ると思えます。また、立花中学校の校訓には「時を守り、場を清め、礼を正す」というものがあります。その中の「時を守り」とはその言葉の通り「時間を守る」ということです。校訓にあるということは、それだけ大切だということだと思います。この時間を守るという事は中学校だけではなく、将来社会に出たときに

も役に立ちます。時間とは、人々の下に平等にあるものです。時間だけは、人間の生まれも育ちもまったく関係なく平等に1日24時間として与えられています。これだけは人の力を変えることも曲げることもできない絶対的なことです。そして、何事も成功を取っている人は時間をうまく使っている人だと私は思っています。時間を有効に使えるということは、それだけ人生を豊かにするということですよ。

時間をうまく使い、何事にも一生懸命に取り組み、必ず成功すると思えば、ですから、まずは目先の文化発表会に向けて時間を有効に使って「良かった」と思えるような文化発表会を作りましょう。そして、これからの学校生活にも活かしていきましょう。

立花祭りのポラシティマに来てくださりありがとうございました。中止にはなりましたが、ポラシティマに参加したいというその気持ちを感じました。これからも、生徒会にご協力よろしくお願ひします。池本・秋山・穂森・福地・今井・高平・中嶋・榎本

合唱コンクール 優勝の秘訣

文化発表会ではたくさんプログラムがあります。その中でも合唱コンクールが見どころなのでないでしょうか?立花中学校では毎年、先輩方がとても素晴らしい合唱を聞かせて下さいました。その先輩方が築き上げてきた伝統を受け継ぎ、今度は私たちが新たな伝統を築いていく番だと思えます。

合唱コンクールでは指揮者や伴奏者、パトリリーダーを中心に練習を重ねるこ

編集後記

立花祭りのポラシティマに来てくださりありがとうございました。中止にはなりましたが、ポラシティマに参加したいというその気持ちを感じました。これからも、生徒会にご協力よろしくお願ひします。池本・秋山・穂森・福地・今井・高平・中嶋・榎本

池本・秋山・穂森・福地・今井・高平・中嶋・榎本